



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No. 9

令和6年 6月25日

文責：校長 齋藤和彦

～校門付近～ 駐停車自粛へのご理解協力ありがとうございます

先週から正門東側道路への駐停車が激減しています。(ご理解ご協力に感謝します)
 <駐停車協力お願いした保護者さんから>
 ・「どこで駐停車すればよいのですか」
 ・「学区外通学は正門前乗降許可願います」
 →学校周辺道路に「ここで駐停車ください」と言える場所はありません。(法令上も)
 学校に近づくほどに通行車量は多くなる(立地条件からも)ので正門から少々離れても安全に乗降車できる場所をお願いします。

子ども達の中には、「今日歩いてきました！」
 私は、『ありがとう。がんばったね！明日もね。』
 「お母さんに、車はどうしてももの時だけだよって言ったら、歩いていきなさい！って言われました。」私は、『いいお母さんですね。自分でがんばる強い子になってほしいとお母さんは思っているのですよ。』～たくさんほめました。

「評価の二期制」について

今年度より、「評価(通知票)」を前期/後期の2回としました。(※昨年度12月に通知)

<理由は..>

- ①前期(4月～9月)・後期(10月～3月)
長いスパンで学習の伸びを評価します。
 - ②学期末通知票作成(短縮時程)期間を指導の充実にあてます。(※作成は夏休み)
 - ③学期末にも体験学習や宿泊学習等を位置づけることが可能になります。
 - ④担任が子どもとかわる(心のゆとり)を確保し、子どもに寄り添った指導支援を通した関係性をつくるようにします。
- 学期末の学習や生活の様子は、教育相談にて、成績データをもとに伝えます。
 (学期は、これまで通り3学期制です)

・前期通知票配付：9月末日

・後期通知票配付：3月末日



◆◆ 校長室より ～床屋のおばちゃんのお話から～ ◆◆



床屋のおばちゃんは、山形県新庄出身です。(※おばちゃん..私よりひとまわりは先輩と思います。たぶん)
 ～おばちゃんには、息子も帰省の度にお世話になっていて..今でも子ども料金しか取ってくれないのだそうです。出張先のお土産持参で、帰宅より先に床屋に行くほど..の、そんな床屋のおばちゃんなんです。

そのおばちゃんが、横浜に修行に出る前..新庄での中学校時代のお話をしてくれました。
 「今、学校に行けない、不登校の子が多くなって..何とも悲しくて、何でだろうって思うんだ。“いじめ”なんてことも、私が子どもの頃は、逆にいじめている子をとっめしたもんだ！」
 ・・・・家が貧しく、毎日の弁当を持ってくることができない○君がいたそうです。“弁当”は毎日のことです。でも、○君は一向にお構いなし。休まず学校に来て、おばちゃん達は、自分の弁当箱から一つずつおかずを○君に分けてあげたのだそうです。おばちゃんはいつも卵焼きを一つあげました。○君は、おばちゃんに、「おまえの母ちゃんの卵焼きは、いつもうまいな！」おばちゃんは、「私が作ってるんだ！どうだ！うまいだろう！」って。※おばちゃんは、毎朝、自分でお弁当を作っていたから、お母さんに見つからないように、内緒で砂糖をいっぱい入れていたそうです。(秘)～そんな○君も後ろめたさどころか、学校を休むことは一度もなかった。

今思うと若い担任の先生(きれいな先生)は、遠足や修学旅行のときは「新しい服やリュックを買ってきてはいけません！絶対に！」(※今さらながら..○君への気遣いだったと思う)何十年ぶりかの同窓会に新庄に集まって、○君の笑い話に花を咲かせて..みんなみんな立派に大人になって..自分なりの人生を歩んで..ここに集う“あのときの大好きな仲間”に。。

～こんなおばちゃんの話をお得意さんが来るから、おばちゃんはまだまだ辞められない。

3月..「おばちゃん！ぼく先生になれました！○小学校です。デビューの髪型まかせます！」なんて子もいたそうです。(この新採用先生は、“いい先生になるな”と私も期待しています。)

☆おばちゃんの話に、説教じみた“不登校・いじめ教育論”を語ることはしません。ただただ..おばちゃんの生きた時代の『価値観』『仲間を思うあたり前の掟(おきて)』に賛同しました。

※「おばちゃん..いい話だけど、話が長く..切りすぎちゃうから注意して..。ほら、また今日も！」(笑)